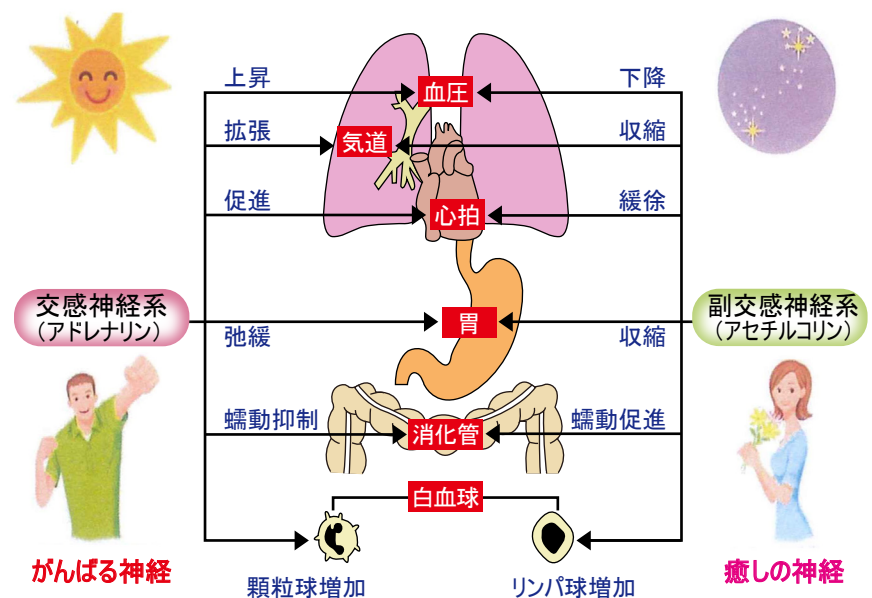
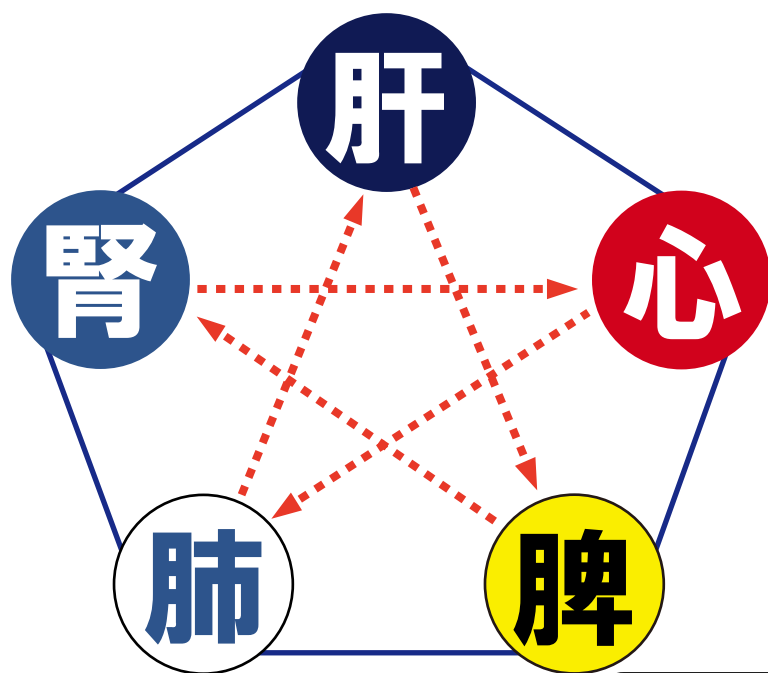


自律神経失調症症状とは

臓器・器官の活動を調節する自律神経の働きがスムーズにいかなくなるために生じる症状のことを言います。症状は実に多彩で、個人差の大きく検査をしても異常がないことが多い。



【肝】【心】【脾】に失調が出やすいとされています。

**あなたは【肝】失調タイプ？
それとも【心】失調タイプ？
【脾】失調タイプ？**

自律神経失調の症状は、症状を取り除く一時的抑えでは治りません。あなたの身体の根っこである【肝】【心】【脾】の弱りを元気に働きを良くすることが大切です。そのままにしておくと【肺】【腎】まで弱めてしまいます。

自律神経・肝臓の解毒機能など
ストレス等の影響を受けやすいのは【肝】、【肝】の働きが低下すると【気】の巡りが滞りやすくなります。

脳・神経・心臓の循環機能など
【心】はそのもの働きが悪くなる他、【肝】症状がすすんでバランスを崩すことも多いところです。

消化器・栄養代謝など
【肝】が高ぶりすぎることでも【脾】の働きを弱めてしまうことが多いのです。

- 気分の落ち込み
- めまいがする
- 生理通・生理不順がある
- 肩こりがひどい
- 口が苦い
- 悪夢を見る
- イライラしやすい
- 胸部の張る感じ
- 目が充血する
- 頭痛がおこりやすい

- 動悸・息切れがする
- 寝付きが悪い
- 夢をよく見る
- のぼせやすい
- 物忘れが多い
- 不安感がある
- 不整脈がある
- 顔色が悪い(赤っぽい)
- 寝汗がある
- 気分が落ち込む

- 思い悩んでしまう
- 胸焼けがする
- 胃が重たい
- 食欲減退
- 胸部の張り
- 下痢しやすい
- ため息が多い
- 消化不良を起こしやすい
- 気力がない
- 口内炎ができる